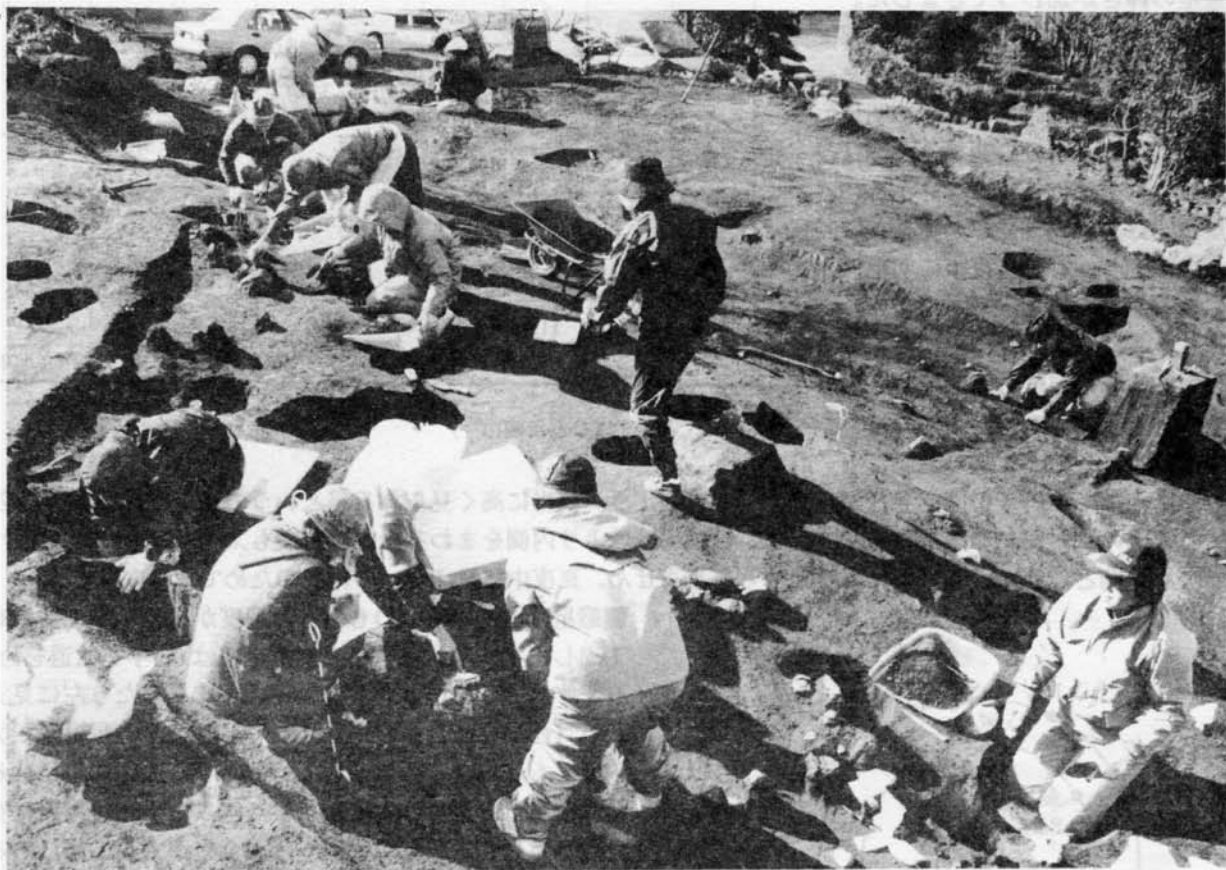




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'95 11月号



山王久保遺跡<市内岡崎>

今月の寄贈品コーナー

『近年の発掘調査の成果』

11月1日(水)～29日(水)

■平成2年～6年にかけて約150カ所の遺跡の調査が市内で行われ、平塚の歴史を探る上で大変貴重な資料が発見されています。今回はその成果の一部を紹介します。

■展示する資料は縄文時代の山王久保遺跡、弥生時代の赤坂遺跡・田村館跡、古墳時代の根坂間横穴墓群・城山横穴墓群、奈良・平安時代の稲荷前A遺跡・坪之内遺跡・稲荷前B遺跡・出縄砦の9遺跡です。

■縄文時代の山王久保遺跡では中期の住居址から多くの土器や石器が出土しました。傾斜地に立地していることに注目すべきかと思えます。また隣接する上ノ入B遺跡との関連が窺い知ることができます。

■弥生時代の赤坂遺跡では後期の東海地方の土器が出土しています。この時期にかなりの「人」や「もの」の交流があったことを語っています。田村館遺跡では中期の土器が土坑(方形周溝墓?)から一括出土しています。この時期の土器は自然堤防から2例目の出土となり、弥生集落の展開を知る上で貴重な資料と言えます。

■古墳時代後期に爆発的に造営された横穴墓は市内に多

く存在しますが、城山横穴墓では相模川流域では最古と考えられるものが発見され、直刀・馬具・装身具が出土しました。根坂間横穴墓は昭和8年に発見され、学史に残る貴重な資料が発見されましたが、今回の調査では横穴墓の前庭部が良好に残り、そこから大甕や鉄鏝が出土し、前庭部での墓前祭が明らかになりました。

■奈良・平安時代の出縄砦では傾斜地でありながら、住居址が検出し、特に官吏が身に付けた石帯が出土しています。石帯の性格を検討する段階かと思えます。相模国府域の・稲荷前A・稲荷前B・坪ノ内遺跡から新たな資料が発見されています。特に、稲荷前A遺跡出土の墨書土器「旧鼓一」の「鼓」(くき)は相模国の特産物で国の厨機関が製造したものと考えられています。またこの土器の年代が8世紀中葉であることから、初期国府所在地を巡る論争に大きな波紋を投げかけた資料です。

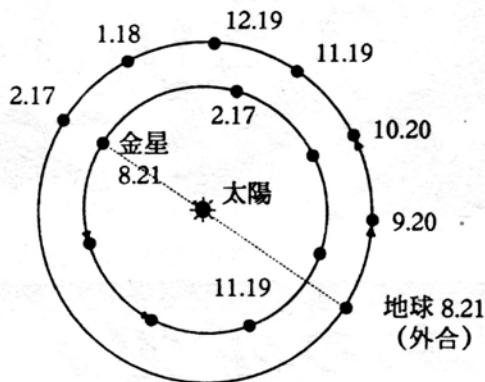
■近年の調査から、古代の平塚市の様子が少しずつ明らかになってきました。この機会に是非ご来館され、思いを古代に馳せていただきたいと思います。

「明けの明星・よいの明星」

■夕方空が美しい季節です。今月に入って、その夕焼けの彩りに金星の輝きが加わってきました。地球よりやや内側をまわるこの惑星は、明るさが-3～-4等もあり、夕方見える時には「宵の明星」、明け方だと「明けの明星」と呼ばれます。それにしてもなぜ、この星は明け方か夕方にしか見えないのでしょうか。なぜ「夜半の明星」にならないのでしょうか。

■私たちに昼と夜がめぐってくるのは、地球の自転のためです。日本が太陽側にある時が昼になり、裏側にまわって、太陽の陰側にな

った時が夜です。下の図を見ながら考えてみましょう。夜半に高く見られる星というのは、地球の位置から見て、太陽の反対側にある星たちです。ところが、地球より内側をまわる金星はいつも太陽のほうに見えるわけで、反対側どころか、90° 離れることすらありません。真夜中に見えないのはこのためです。

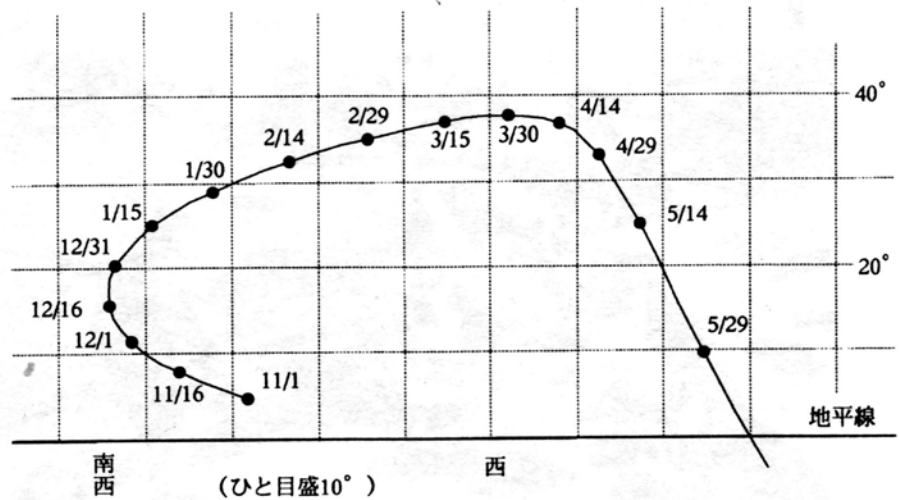


地球と金星の動き

° 以上になり、天気の良い日には目立つようになります。とくに中旬以降は、これも-2等の木星と近づき、おもしろい眺めになりそうです。

■さて、あなたはいつから「宵の明星」を目にするでしょう。日没は今月はじめて16時50分ころ、月末で16時30分ころです。夕焼けが美しい日没30分後をめやすに、少し前から空を眺めてみましょう。

日没30分後の宵の明星の位置



■惑星は内側の軌道のものほど速度があり、早く軌道を1周します。地球は1年ですが金星は0.6年で軌道をめぐります。そこで地球からは太陽の右に見えたり左に見えたり（西に見えたり東に見えたり）します。星は毎日太陽とともに東から西に動いているので、太陽の東にいる時の金星は、夕方、太陽より早く沈みます。日没後に空に残って見える「宵の明星」は、金星が太陽の東にある時なのです。反対に「明けの明星」は、太陽の西にある金星が、日の出前に空に昇って見えるものです。

■今年、金星は8月21日に太陽の向こう側を通り、太陽の東にまわって「宵の明星」になりました。ところが秋の夕方、西の空での金星軌道は南に寝そべるような形になっているので、高度があがらず、なかなか姿を見ることができませんでした。今月になって日没時の高度も10

プラネタリウム利用案内 : 《一般投影》

投影日 : 毎週土・日曜日

投影時間 : 第1回目 11:00 第2回目 14:00

観覧料 : 100円

定員 : 86名

★途中入場はできません。

★観覧券の発売は9:00からです。1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

★毎月第2・4土曜日の学校休業日には、高校生以下の方は入場無料になります。

★土曜日の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

書名	判	頁	価格
ガイドブック			
7 平塚 四季の自然	B6	80	500
8 平塚の石仏めぐり －旧市内編－	B6	84	550
10 星空の12ヵ月	B6	114	600
11 湘南の動物－獣蛇蛙魚－	B6	104	600
12 平塚の石仏めぐり －大野地区編－	B6	92	650
13 平塚・平野の地形	B6	96	700
14 野鳥の観察	B6	96	900
特別展 図録			
街の生きものたち	AL	24	500
飛騨の民具	AL	24	300
林の生きものたち	AL	20	600
野鳥入門	B5	40	750
イーハトーブ 花巻・くらしと文化	B5	48	1000
タンポポと春の花	B5	40	700
湘南のキノコ	B5	32	900
おもちゃとあそび	B5	32	1030
砂浜の発見	B5	68	800
絵馬を読む－南相模の絵馬－	B5	48	1000
太陽活動をさぐる	B5	40	1250
鳥類画家 小林重三	B5	57	1000
掘り起こされた平塚 II	A4	40	730
44万7,716本の軌跡 －平塚の空襲と戦災－	A4	64	500
鳴く虫・はねる虫－湘南の直翅類－	B5	52	800
平塚の石仏			
8 真土・中原・南原	B5	102	400
9 田村・横内・吉際・大神	B5	102	400
10 岡崎	B5	88	400
11 金田	B5	76	400
12 片岡・千須谷・広川	B5	54	400
13 山下・高根・万田・出縄	B5	74	400
14 根坂間・公所・河内・纏・徳延	B5	74	400
15 上吉沢・下吉沢	B5	84	400
16 土屋	B5	125	400
平塚市博物館展示ガイド	B5	80	1150

書名	判	頁	価格
博物館資料			
湘南植物誌 I	B5	124	800
湘南植物誌 II	B5	180	800
湘南植物誌 III	B5	168	800
湘南植物誌 IV	B5	180	850
大磯丘陵の地質 2	B5	86	900
大磯丘陵の地質 3	B5	70	900
王子台遺跡発掘調査報告書	B5	36	500
赤坂遺跡発掘調査報告書	B5	44	650
シダ植物標本目録 －府川勝蔵コレクション－	B5	76	500
所蔵資料目録 II －今井家文書 I－	B5	126	350
所蔵資料目録 III	B5	132	500
所蔵資料目録 IV	B5	92	400
所蔵資料目録 V	B5	84	550
所蔵資料目録 VI	B5	73	750
動物資料目録 I	B5	164	750
地質資料目録 I 鉱物	B5	72	650
セミのぬけから調べ	B5	124	900
玩具資料目録 I 中田コレクション	B5	44	750
相模川事典	B5	332	1900
吉川コレクション植物標本目録	B5	200	1100

号数	価格	号数	価格	号数	価格
博物館 年報					
第3号	400	第7号	500	第13号	550
第4号	400	第8号	550	第16号	500
第5号	400	第9号	600	第17号	400
第6号	400	第12号	400	第18号	400
博物館研究報告 自然と文化					
第2号	600	第8号	650	第14号	1000
第3号	700	第9号	700	第15号	950
第4号	700	第10号	650	第16号	950
第5号	550	第11号	700	第17号	1000
第6号	600	第12号	800	第18号	1100
第7号	650	第13号	1000		

■博物館の刊行図書は、博物館受付で販売しています。
郵送ご希望の方は、書籍代金と送料を現金書留または
郵便為替でお送り下さい。送料については、博物館ま
でお問い合わせ下さい。

■平塚市博物館市史編さん係では、『平塚市史』、『平塚市民俗調査報告書』を順次刊行しています。ご希望の方は、直接市史編さん室までお越し頂くか、現金書留にて頒布代金と郵送料をお送り下さい。市史編さん室では、書籍の見本をご覧頂けます。

申込先：平塚市博物館 市史編さん係

平塚市民俗調査報告書	価格
4 金目・金田地区	1,400
5 旭地区	1,300
6 大野地区	1,300
7 平塚(旧市内)	1,400

平塚市史	
資料編	価格
1 古代・中世	5,300
2 近世(1)	5,000
3 近世(2)	5,000
4 近世(3)	5,000
5 近代(1)	5,400
通史編	価格
9 古代・中世・近世	5,600
別編	価格
12 民俗	7,000

■博物館カレンダー■

1 1 月の行事予定

4	土	地質調査会（館内）
8	水	地質調査会（館内）
11	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会（平塚海岸）
12	日	相模川の生い立ちを探る会 「白山～巡礼峠・厚木市」 ○体験学習「和紙をすこう」 ○自然観察会
15	水	裏打ちの会
18	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会（館内） 天体観察会（月光天文台：至19日）
19	日	古代遺跡を探す会
24	金	◎星を見る会 「土星」
25	土	古文書講読会
26	日	地質調査会（野外）
30	木	月末休館日

プラネリウム一般投影：11/11～1/7

「明けの明星・宵の明星」

寄贈品コーナー：11/1～11/29

「考古部門：近年の発掘調査の成果」

12/1～1/30

「民俗部門：講のつどい」

■漂着物を拾う会■

◇海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べます。

■開催日：11月11日（土）

12月9日（土）

■時 間：9：30～15：00

■場 所：平塚海岸・博物館科学教室

■集 合：花水川河口平塚側たもと記念碑前

■参 加：自 由

行事に関するお問い合わせは、平塚市博物館 管理係・学芸係 TEL 0463-33-5111
FAX 0463-31-3949 まで。

1 2 月の行事予定

2	土	地質調査会（館内）
9	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会（平塚海岸）
10	日	相模川の生い立ちを探る会 「煤ヶ谷石の産地・清川村谷太郎川」
13	水	地質調査会（館内）
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会「星雲星団の観察」
17	日	古代遺跡を探す会 ○体験学習「お飾り作り」
22	金	◎星を見る会 「冬の星座」
24	日	○体験学習「家紋風作り」 地質調査会（野外）
28	木	年末・年始休館 <至：1月4日>
◎は参加自由 ○は申し込み制 他は会員制		

◆星を見る会「土星」◆

◇「陰側」の面がこちらに向いて、「環が見えない」珍しい土星の姿を観察します。

■開催日：11月24日（金）

■時 間：19：00～20：00

■場 所：博物館屋上

■集 合：博物館<1階科学教室>>

■参 加：自 由

■備 考：曇・雨天時中止

参加者募集◆「お飾りを作ろう」◆

◇正月用の一文飾り、輪飾り、玄関飾りを作ります。

■開催日：12月17日（日）

■時 間：10時～15時（初心者対象）

13時～15時（経験者対象）

■場 所：博物館講堂

■材料費：100円

■申 込：往復はがきに<「1日」か「午後」>を明記の上12月4日（月）まで。

■備 考：募集人数30名（申込多数の場合は抽選）

体験学習参加者募集◆「家紋風を作ろう」◆

◇家紋を入れた角風作りを体験します。

■開催日：12月24日（日）9時～16時

■場 所：博物館科学教室

■材料費：400円

■申 込：往復はがきで12月9日（土）まで。

■備 考：募集人数20名（申込多数の場合は抽選）